

商店街活性化事業計画の概要

地域

東京都江東区

認定日

平成24年4月13日

事業名：亀戸ブランドを活用した亀戸いきいきコミュニティ創造事業

事業者名： 亀戸いきいき事業協同組合

事業実施期間 平成24年4月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

- ・亀戸の5つの商店街が協力して、住民ニーズに対応した亀戸ブランドの商品開発に取り組みながら、亀戸いきいきマルシェと亀戸グルメ食べ歩きイベントを開催して、新たな商品やサービスを地域住民に楽しく提供することで、地域住民の商店街利用を増加させる。
- ・商店街の中に交流館「亀戸梅屋敷(仮称)」を整備して、地域住民の休憩、交流、参加体験などを提供することで、商店街の活性化を図る。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

アンケート調査によると、楽しくワクワク感のある買い物や食事の場やイベントとともに、亀戸の地域性にこだわったブランド商品の開発と地域イメージの発信を期待している。また、子どもから高齢者まで多様な世代が、商店街で休憩、交流、参加体験学習などの活動ができる場を求めている。

◆実施計画の主な内容

- ・「亀戸いきいきマルシェ」を月に1度、日曜日に開催して、商店街と地域住民の交流の場をつくとともに、魅力ある商品の開発と販売を促進する。
- ・「亀戸グルメ食べ歩きイベント」を年2回開催して、若者を中心に商店街へ集客を図るとともに、商店のリピーターづくりに取り組む。
- ・亀戸ブランドの新商品開発を5つの商店街に広げて、亀戸マルシェで販売する。
- ・亀戸4丁目の公有地を活用して、地域の子どもと高齢者の休憩と交流、また地域住民の参加型活動の場となる「亀戸梅屋敷・交流館」を整備する。

■商店街活性化事業計画の目標(定量的目標)

- ・亀戸中央通り商店街の来街者数を実施計画終了時に、平成22年度と比較して11%増を目指す。(平成22年 平日5,892人→平成25年 平日6,556人)
- ・商店街全体の販売額を、実施計画終了時に、平成19年度と比較して0.6%増を目指す。(平成19年販売額 547億円→平成24年販売額 550億円)

【亀戸十三間通りの歩行者天国】



【亀戸香取勝運商店街イベント】



【交流館「亀戸梅屋敷」平面図】

